

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年2月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100235
法人名	社会福祉法人 豊生会
事業所名	グループホーム 隼人 (たんぼぼユニット)
所在地	鹿児島県霧島市隼人町松永3630番地3 (電話) 0995-64-2520
自己評価作成日	平成26年2月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

グループホーム隼人は、温泉の湧き出る緑に囲まれた住宅地の一角にあります。天気の良い日は散歩などで景色を楽しんでいます。お風呂も温泉浴でアトピー・神経痛・肩こり・リュウマチ・胃腸障害などに効果があり、かけ流し湯で皆様、温泉浴を楽しんでおられます。開設10年を迎え平均年齢・介護度も高くなりましたが、皆様とてもお元気で生活されています。夏には、地域の方々や他の事業所の方々をお招きしての焼肉交流会を、冬は老人会、婦人会の方々の協力を頂き餅つき・そば打ちを行っています。どちらとも毎年の恒例行事として、定着しています。お正月は近くの鹿児島神宮に初詣でに、ドライブを兼ねて霧島神宮に参拝に、とお連れしています。毎日の健康観察により体調不良の早期発見・早期対応に努めています。食事も旬の物を提供し食事の中から季節を感じて頂けるように心掛けています。皆様をご家庭で過ごされる時と同じように、安らげて、安心できるように職員一同家族のような気持ちで支援させて頂いています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、入居者様の前で今日一日の目標を発表している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域交流会（焼肉会）や餅つき・そば打ち等で交流し努力している。しかし、事業所の設置場所地域性などの環境面が日常的交流は難しい。待つのではなくこちらから出向いていくことが大切だと思う。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	私たちの方から地域の中に入り込み地域貢献していくことが大切だが不足している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では参加メンバーからの質問、意見、要望を受け解決に向け取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	入居者様の認定更新時の際、担当者の方へ日頃の状況を伝えている。必要とあればその都度、市役所に連絡し助言を頂いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員の数が十分でなく徘徊や帰宅願望の強い入居者様が外に出て行った時に全く気付かない時があった。事故を考えると現在の時点では、玄関に施錠をさせて頂いている。ご家族にも理解を得ている。できるだけ散歩にお連れし気分転換を図るようにはしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関する勉強会に参加したり、虐待は絶対避けるように心掛けて注意を払っている。職員にも常日頃より伝えている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修に参加し学んでいる。学んだ事を現場に活かし活用するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居者様やご家族の意向を充分受け、説明を行い理解・納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会や担当者会議などの際、ご意見・要望などの把握に努めている。また、出来る事はすぐ実践するように心掛けている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ユニットミーティング、勉強会を行い、意見を聞くようにしている。各ユニットの要望、意見を月一回の責任者会議で話し合いをしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行っている。年2回の人事考課を行い、職員が向上心を持って働けるように働きかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>機会があれば法人外の研修にも参加できるようにしている。職員の人数が不足しているなどからなかなか難しい。せめて、法人内の勉強会は参加するように勧めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>小規模連合会・GH連合会がありその中で意見交換会や交流会で交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>情報収集を密にし、ご本人やご家族の要望、不安などを把握し安心して生活できるように努めている。受け持ちを決め、より深く心に寄り添う事で新しい生活に早く慣れて頂くように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の心配事、要望などに真心を持って傾聴し、共に考えていく姿勢で臨み、信頼関係を築けるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>情報をもとにして、今必要としている支援を見極め、ご家族の協力も得ながら対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>グループホームでの生活が、その人らしく有意義に過ごせるように、自分の家族だったらどうだろうとの気持ちを持って接するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活の様子を手紙や電話、また写真等で知らせるなどしている、協力を得たり相談したり、喜びや安心感を持って頂けるように努めている。ご家族と過ごされる時の表情がどんなに良いかを知って頂けるようにお伝えしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	身内や知人などの面会時は、写真を撮りお部屋に貼ったりファイルに収めて見て頂き、いつでも覚えて頂くようにしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション（ボール遊び、輪投げ、ボーリング、歌など）で皆で応援しあったり拍手し合ったりなどで気持ちを通い合わせている。洗濯物たたみを職員、入居者様たちと一緒にしながら声を掛けあったり、教え合ったりと触れ合いが持てる場面を提供している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院中に退所された場合病院を訪問したり、電話等で情報交換するなどし相談に乗っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活や会話の中からその方の思いや希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、ご家族の意見を反映するように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしの把握は、ご家族から得ることもなかなか難しい場合が多い。なるべくたくさんの情報を得るようにご家族・知人などの面会時や行事参加時などに得るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察やバイタルサインチェック、ケース記録、申し送りなどを通し現状把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のミニカンファレンス、月毎のユニットミーティング時、担当者会議時などに意見を出し合い介護計画書を作成している。特に、受け持ち職員は意識を高く持ち、意見を出すようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿った記録を実施している事で、情報の共有や継続性のあるケアが出来ているようだ。また問題の提議や計画の見直しにも活かされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に柔軟な支援やサービスの提供が出来るように心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域交流会の中で餅つき・そば打ち、焼肉等の交流を楽しんでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及びご家族の希望を大切に、かかりつけ医で医療を受けている。適切な医療機関で受けてほしいと常に思っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員の毎日のバイタルサインチェックや観察、情報などから早めに異常を感知するように心掛けており、看護職員や医師への相談や適切な受診などうけられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、毎日職員が病院を訪問し、声かけを行い、洗濯物を持ち帰ったり届けたりし、ご本人やご家族にも安心して頂いている。病院関係者との情報交換や相談なども行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>急変時の対応について、ご家族の意向を知り、主治医にも伝えている。終末期の在り方についてもご家族と話し合い、考えるようにしている。関係医療機関のドクターからも相談・報告をするように努めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>夜間発生時は、応援者をすぐ手配し、他の入居者様の事故防止にも配慮している。AEDの使用方法については勉強会で習得している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に訓練を実施している。地域の方の参加はない。スプリンクラーと火災報知器の設置は出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩として尊敬の気持ちを持って接し、優しく丁寧な言葉遣いを心掛けている。排泄、入浴、更衣介助などは特にプライバシー確保に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の行動や表情の観察、傾聴を通して、その方の思いや希望を知るように努めている。また、思いや希望を表出できるように雰囲気づくりしたり、信頼関係が築けるように努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務に追われる毎日の中で、入居者様の行動、動作、表情などを見過ごすことがないよう気を付けながら入居者様中心の介護を心掛け、笑顔が多見れるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時や入浴時、いつも同じような服装にならないように、お似合いの物、希望の物など取り入れて、小奇麗であるよう心掛けている。洋服の汚れやボタンが取れていないか等チェックするように心掛けている。トイレ誘導後の衣類の乱れにも気を付けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の食欲や体調に合わせて、食事の量や形態を考え盛り付けている。職員も一緒に食事を摂り見守りや会話で楽しい時間が過ごせるように支援している。出来る方には、テーブル拭き、食器片付けをして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方に合った食事量や好きな飲み物、ジュース、ゼリーを準備したり、その方に応じた食事形態（普通食・刻み・ミキサー食）にして確保に努めている。水分は1日/1500mlを目標にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯の方には、自分で洗って頂き、仕上げを職員がしたり、自分の歯の方には満足ゆくまで自分で磨いて頂いたり、その方に応じた口腔ケアを支援している。うがいには、お茶を利用している。舌苔も専用器具で除去するなど清潔に心掛けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	便意・尿意のない方も時間毎のトイレ誘導を行い、トイレでの排泄を心掛けている。便座に座ると排尿が見られる方もいる。尿漏れのある方は布パンツに尿取りパットを使用するなどオムツへの移行を遅らせるようにしている。清潔が保たれるよう排便後は必ず洗浄、清拭を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	早朝、冷たい牛乳を飲み、おやつにはヨーグルト、果物、焼き芋などを取り入れ水分も多く摂る等の工夫をしている。少しでも歩ける方には車椅子のみでなく歩いて頂く。体操やボール投げ、散歩などで体を動かしたり腹部マッサージをするなどして工夫している。排便チェックし困難時は主治医に相談し緩下剤使用もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	バイタルサインチェックで体調観察を行い、水分補給後入浴を楽しんで頂く。入浴拒否時は時間をずらしたり翌日にしたりと配慮している。隔日の入浴で、時間帯も職員で決めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	高齢者が多い為、午睡時間を設けている。強制ではなくロービーで過ごされる方もいらっしゃる。下肢に浮腫のある方は、ベッドで臥床を勧めている。寒い夜は、湯たんぽを使用し希望に応じている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的、副作用、用法などについても理解するように努めている。症状の変化などは記録するようにしている。職員との確認、入居者様との声出しの確認を行う事で誤薬を防いでいる。飲み込みの確認も確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に応じた役割（洗濯物たたみ、テーブル拭き、掃除など）を職員と共にしている。満足されている。レクリエーションも午前、午後と設定しており、朝の散歩、周辺の散歩、戸外活動で気分転換を図っている。誕生会でのちらし寿司、ケーキも楽しみにしておられる。行事参加も楽しみである。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その方の希望に沿って外出支援を行いたいですが、職員の人員が少なく現状ではなかなか困難である。殆ど高齢医者の為、遠出は積極的に行っていない。恒例行事での楽しみの一つとして「近くの川沿いで全員参加のお花見がある。ご家族との外出・外食などで楽しめるように支援していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の支払いや所持の出来る方は殆どいない。しかし夏祭りや外出の際、ご本人に（実際は出来ないが）支払って頂くなどで満足感が感じられてる。預り金は自費で支払う分はご家族より預かってはいるがご本人が所持するお金はない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人の希望があれば電話の取り次ぎをしている。送り物が届いた時は、ご本人に電話でお礼を言うて頂く時もある。毎晩、奥様に電話を掛けて頂き、会話をし、安心を得ている方もおられる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室内やロビーに季節毎の写真やぬり絵を貼ったり花を生けたりしている。換気は常に行いユニット全体に新鮮な空気を流している。毎日1日/3回次亜塩素酸を使つての拭き掃除を実施し清潔にも力を入れ気持ちよく過ごして頂いている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>見守りの中で、独りになれたり、テレビの前にお連れしたり、会話の弾む席を設けたり、ひなたぼっこで歌を唄ったりレクリエーションしたりと畳の部屋で集まって洗濯物をたたんだり、居場所の工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族や知人の写真、使い慣れたダンスや鏡台、お位牌などを置き生活されている。面会時は出来るだけ写真を撮り室内に貼り、ご家族や知人を忘れる事がないよう、安心感が得られるように工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行の方にも車椅子の方にも安心、安全に生活して頂ける環境づくりに心掛けている。お風呂場やトイレが狭く、車椅子使用の方々には使用しづらく危険要素も多い。ロビーが広い事は動き易くて解放感がある。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない